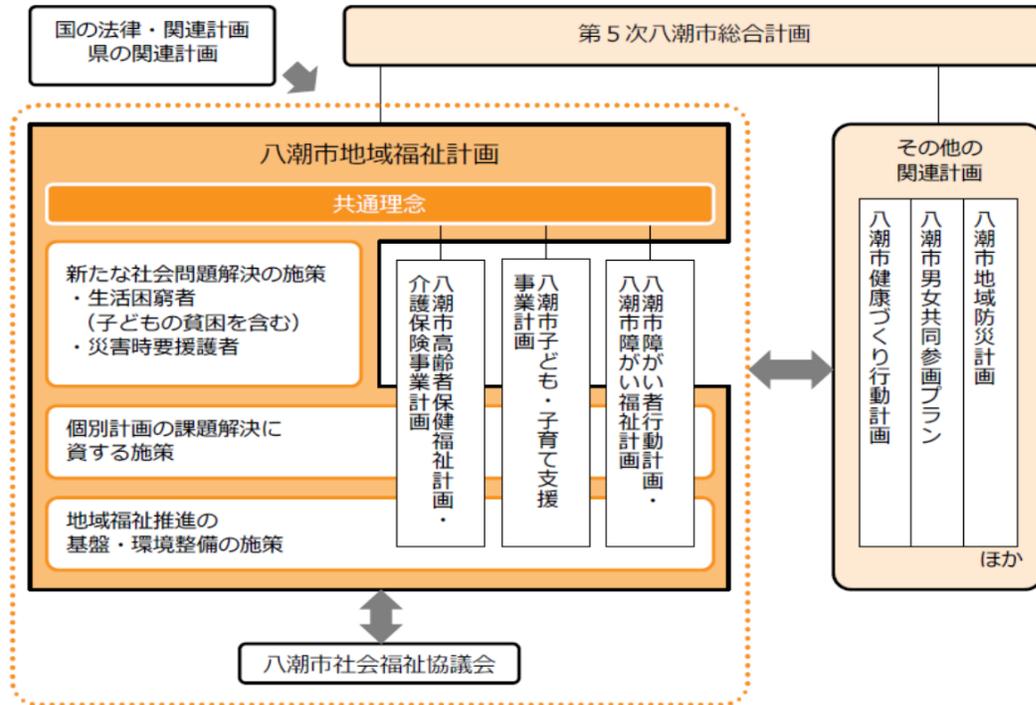


事業評価の概要について

八潮市地域福祉計画の位置付けについて



令和2年度
取組結果についてご報告いたします。

【(地域):地域福祉計画、(高):高齢者保健福祉計画、(介)介護保険事業計画、(子)子ども・子育て支援事業計画、(障)障がい者行動計画、障がい福祉計画】

基本目標	1 ともに手を携え互いに支え合う地域づくりの推進	施策の内容	1 コミュニティ活動の促進
施策の柱	1 地域における絆づくりの推進	事業展開数	6
施策の展開	多くの市民の地域への参加・参画を促進するため、地域福祉の基盤となるコミュニティ活動を活性化し参加・参画の機会を確保するとともに、コミュニティ活動団体間のネットワークを充実します。 また、地域において、心のよりどころを持つ場として、子育て中の親や乳幼児、児童、生徒、障がい者、高齢者などが集える居場所を確保するなど、地域の絆づくりに大切な思いやりの心を醸成するための交流の場や機会の充実を図ります。		
施策の目標	・活動団体に活動発表及び交流の機会を提供し、団体間のネットワークの充実を図ります。 ・様々な方が集い、交流や相談が行える居場所づくりを推進します。		
主な取組内容 (実施計画)	取組結果 (事業評価)	課題や改善点	
・活動団体に活動発表及び交流の機会を提供する「やしおコラボフェスタ」を実施します。(地域)	・市内で活動する団体等と市の協議により、第8回やしおコラボフェスタを企画していたが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止となった。	開催できなかったため、なし	
・高齢者と障がい者がスポーツを通して健康を維持増進し、相互の友愛を深める「八潮市高齢者と障がい者のスポーツの祭典」を実施します。(地域・障)	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「第48回八潮市高齢者と障がい者のスポーツの祭典」は中止となった。	安全面の配慮が不足していたため、参加者が安心して参加できるように、安全面の配慮について検討していく必要がある。	
・認知症の方や家族、地域住民、専門職等が参加でき、集える場である「オレンジカフェ」を市内4か所の地域包括支援センターで実施します。(高)	・オレンジカフェを市内4か所の地域包括支援センターで実施した。合計23回(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため25回中止)実施。延べ300人の利用者があった。 ・オレンジカフェに認知症サポーターを含むボランティア48人の参加があった。	新型コロナウイルスの感染拡大の状況に配慮し、安全に開催できるよう、協議していく必要がある。	
・子育て中の親や乳幼児等が集える場を提供し交流を促進するため、「やしお子育てまっとうステーション」をはじめ市内7か所で子育てひろばを開催します。(子)	・市内7か所で子育てひろばを合計1,559日開催し、合計20,248人の利用者があった。 ・子育て相談や情報提供、子育てに関する講習会等を開催し、相談件数は224件、講習会への参加者数は969人、身体測定への参加者数は741人であった。	利用者の増加に伴い、相談内容も多様化しており、子育てひろば間の情報の共有化による利用者対応の統一化が必要である。	
・障がい者が集える場を提供し、交流を促進し、身体を動かす機会を提供する「やしおスポーツ交流会わいわい」を実施します。(障)	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「障がい者スポーツ交流会わいわい」は中止となった。	今後も円滑に事業を行っていくためには、ボランティアの活用や障がい者スポーツ指導員の育成など、運営スタッフの充実が必要である。	

地域福祉計画の進行管理について

